



川口市で2か所目の障害者入所施設「光福」



障害者入所施設、正規保育士の増員、非正規職員
の処遇改善を質問
市会議員 志村しげる

蕨市障害者計画と障害者
入所施設の設置について

【志村】障害者計画の重点施策に「蕨市、川口市、戸田市で構成する南部障害保健福祉圏域での広域的対応を基本とした入所施設の確保の検討」とあるが、蕨市内への設置も検討するのか。

【部長】県は市町村に「待機者数と施設の数などの状況から、今後必要数を整備するため政

府要望を行っていく。当該圏域での人口や入所待機者数、現状の施設数を勘案したうえで相談するように」と説明しているので、南部圏域の実情を勘案し、市内に設置することも含め、入所施設の確保について検討する。

【志村】昨年4月に川口市に定員60人の障害者入所施設「光福」ができたが、蕨市民は2人しか入れなかった。南部圏域各市の待機者は何人か。

【部長】2月1日時点で川口市は110人、戸田市は14人、蕨市は12人となっている。

【志村】待機者は合計136人いる。ぜひその方向（市内に設置）で進めて頂きたい。

保育士の増員と非正規
保育士に勤続加算を

【志村】休暇中の人と園長を除くと正規保育士は49人で、非正規職員保育士と派遣保育士は合

計52人になっている。正規保育士を増員すべきだ。

【部長】新年度は欠員1名の補充に加えて2名増員する。

【志村】それは良かった。引き続き正規保育士の増員を考えて頂きたい。非正規保育士については何年勤務しても月額15万6千円なので、経験を生かして働き続けてもらうためにも勤続加算を行うべきだ。

【部長】保育士は社会的に不足しているので、どのような制度が可能か検討する。

非正規職員の処遇改善を

【志村】蕨市のパート職員の時給は事務職が850円、学童保育指導員等が870円で、他市より低い。少なくとも最近の物価上昇分の3%ぐらいは時給を引き上げるべきだ。

【部長】物価上昇の傾向もあるので、今後の最低賃金の引き上げ等も注視し、適切な水準の確保に努めたい。

【志村】保育士に限らず、月額制の非正規職員に勤続加算制度を導入するべきだ。

【部長】対象をどのよう to 考えるかも含め、検討する。

日本共産党市議団の
一般質問項目

やまわき紀子議員

- ◆コミュニティバスのベンチとルート改善
- ◆地域包括ケア体制
- ◆保育園の増設や地域型保育への移行の計画はどうか
- ◆被爆戦後70年、平和都市宣言30周年のとりくみ



鈴木さとし議員

- ◆災害に強いまちづくりをすすめるために
- ◆学童保育室の5・6年生への拡充への対応
- ◆カラスの巣の撤去
- ◆蕨駅東口の喫煙所問題



かじわら秀明議員

- ◆介護施設の特徴がわかる資料の作成
- ◆見沼代用水沿いの木の根による道路破損等への対応
- ◆住民の高齢化などマンション生活における諸課題
- ◆小規模企業振興基本法



安倍政権の暴走政治ストップ!

蕨市のあつたか市政が前進

日本共産党市議団3月議会でも奮闘

3月定例会市議会は3月23日、市長提出議案すべてを可決し、閉会しました。

日本共産党市議団は、頼高市長のあつたか市政を前進させる立場から議案を審議。質疑と一般質問を通じ、消費税8%への増税の影響や、今年4月からの介護保険制度改悪の影響、子ど

も・子育て支援新制度の内容等を問い、安倍政権の暴走政治から市民の暮らしを守る立場を明らかにしました。

2015年度の蕨市予算等には、党市議団が市民の要望を聞いて頼高市長に手渡した予算要望書の中から、たくさんの方策が盛り込まれました(新年度の

施策を2・3面に掲載)。

被爆者の願いに

新生会・公明党が反対

県原爆被害者協議会が提出した被爆者援護法の改正を求める陳情に新生会は「法律を改正する必要はない」と反対討論、公明党も反対して不採択になりました。被爆者の範囲を狭くする



頼高市長に予算要望書を手渡す市議団 (2014年11月20日)

2期8年の実績と前進への決意

頼高市長が施政方針を表明

議会初日に頼高市長は施政方針を述べました。2期8年を振り返り、①県南初の中学卒業までの医療費無料化、蕨駅のエレベーター設置、市立病院の黒字化、小中学校の耐震化の完了、全ての普通教室へのエアコン設置、市内3か所目の特養ホーム、

える援護法の改正は、被爆者の切実な願いです。これに背を向ける党派の態度は残念です。

認可保育園5園増設など、マニフェストの実現で住み良いまちづくりが大きく前進②市政健全化や大型開発の見直し等の市政改革の前進③市民との対話・触れ合い・協働の前進、を紹介。あつたか市政をさらに前進させる決意を表明しました。



【志村しげるのプロフィール】

- 1950年(昭和25年)4月、蕨市で生まれる
- 現在=日本共産党蕨市議団団長・市議9期
- 錦町4-8-5 電話 441-0265
FAX 441-0269

生活相談はいつでもどうぞ

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2015年4月号

事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531

市会議員

志村 茂 ☎441-0265 山脇紀子 ☎446-3129
 鈴木 智 ☎444-6957 梶原秀明 ☎447-1928
 ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> 共産党蕨 検索
 メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2015年度予算 14年度 補正含む でたく

適切な援助が受けられるように、障がい者等にヘルプカードを配布。

◆認可保育園3園を増設

待機児童解消に向け、3園を増設。頼高市長の8年間で認可保育園5園・定員388人が増えます。

◆学童保育室を増設

中央小と東小の余裕教室を活用して学童保育室を増設します。

◆生活困窮者自立支援事業を実施

自立相談支援、家計相談支援、中学・高校生への学習支援、住宅確保給付金の支給、生活保護住宅ソーシャルワーカー事業を実施。

◆胃がん検診を個別検診に

胃がん検診を集団検診から個別検診に変更（自己負担は1700円）し、受診率を向上させます。

◆小・中学校へ緊急地震速報設置

緊急地震速報システムを設置して学校安全の向上と防災教育の充実を図ります。

◆小・中学校等のトイレ対策強化

◎中央小・一中の洋式トイレ増加
◎錦町児童館のトイレを洋式化
◎東公民館のトイレを一部洋式化
◎小・中学校のトイレの臭気対策として清掃経費を増額

◆住宅リフォーム助成制度拡充

15年度に限って補助率を10%、助成額を20万円に拡大（過去に本制度の助成を受けた人も利用可）。

◆プレミアム付き商品券発行

千円の商品券13枚を1冊1万円で購入。2万5千冊発行します。

◆わらびりんごサイダー完成に向け助成を拡大

◆中心市街地活性化事業推進

◆東口コミュニティ・ショッピング道路の設計（整備は次年度）

◆成年式発祥の地である蕨市の成年式を70周年にふさわしく実施



ショッピング道路の計画が進む
蕨駅東口の商店街

◆市民参画・協働の推進

協働事業提案制度に基づく取り組みを引き続き推進します。

◆平和事業の充実

戦後70年・蕨市平和都市宣言30年にあたり、平和事業を充実。

◆地球温暖化対策補助金

今年度も太陽光発電、燃料電池、雨水貯留施設等に補助します。

◆中央第一地区のまちづくり

地区計画による新たなまちづくりを推進します。

◆錦町区画整理事業の推進

一般会計から約8億9千万円を繰り出し、事業を推進します。

◆土地開発公社の健全化推進

14年度の補正と15年度予算で約11億円買い戻し、土地開発公社の借金残高を約39億円にします。

◆市議会の本会議をインターネット中継（9月定例会から実施）

悩み・困りごとは日本共産党にご相談

事務所 ☎443-8332 FAX 444-6531

皆さんの市民要望が実現

◆公共施設の耐震化を推進

◎東・南公民館の耐震化工事

◎市民体育館（北町コミュニティセンター）の耐震化設計

◎市民会館の耐震診断



耐震化設計を行う市民体育館

◆公共施設白書を作成し、長期的な施設改修計画の策定を準備

◆自転車盗難等防止のパトロールを拡充

◆自転車用ヘルメット購入補助
17歳以下と65歳以上の人のヘルメット購入に2千円補助します。

◆消防職員・消防団員のOBなどで消防災害支援隊を創設

◆防災行政無線の難聴対策実施
テレビ埼玉と蕨ケーブルビジョンで防災情報を発信します。

◆災害備蓄品を充実

◆市民が自由に持ち出せる土のうステーションを市内7か所に設置

◆道路照明灯等の落下防止点検

◆家具転倒防止器具設置補助金を創設

75歳以上のみせ帯、障がい者・要介護及び要支援者のいる世帯は最大1万円を補助します。

◆災害時に障がい者などの避難を支援する個人別の計画を策定

◆配偶者暴力相談所を設置

女性の専門家2人を配置し、市役所1階に配偶者暴力相談支援センターを設置します。

◆非婚母（父）子家庭の寡婦（夫）控除みなし適用を実施し、保育料などを軽減します

◆小学校の35人程度学級を継続

学級人数を35人以下にする（12月10日が基準日）ために、市独自に4校に7人の教師を配置します。

◆国民健康保険税の税率据え置き
国民健康保険税の税率を据え置き、低所得世帯の軽減を拡充。

◆3か所目の特養ホーム開設

南町に市内3か所目の特養ホームが開設し、同場所に2か所目の地域包括支援センターを開設。

◆介護保険料の低所得世帯の軽減を拡充

◆障がい者にヘルプカード配布

5歳未満のときに周囲の人から



特養ホーム「いきいきタウン蕨」

◆第3子の保育料を無料に

第3子以降が3歳未満児で認可保育園を利用していれば、その保育料を無料にします。

育料を無料にします。

相談ください



志村しげる



やまわき紀子



鈴木さとし



かじわら秀明



ベンチのある交流プラザさくらの停留所

「ミニバスのベンチ設置とルート改善求める」

【山脇】ベンチがある停留所とベンチがない停留所はどこか。蕨駅東口入口、市民公園、三学院、サンクチュアリ入口、市立図書館など市民の要望が高いバス停にはベンチを設置してほしいがどうか。

【部長】ベンチを市で設置したのは蕨駅西口、市民体育館、保健センター、社福センター、交流プラザさくら、東公民館の6箇所。ご指摘の停留所は調査し、必要性や費用面なども勘案し、検討していく。

【山脇】西ルートは長くて市役所に行くのに時間がかかる。西から東ルートへの乗り継ぎに時間がかかる。南町4丁目下蕨通りにも乗り入れてほしいなど、市民からの要望をどのように取り上げ、改善していく考え

はあるか。

【部長】西ルートは錦町土地区画整理事業の進捗状況を踏まえ、再編の時期や運行ルートについて改善にむけた研究をしていく。下蕨通りは民間バス路線と重複しているので慎重な検討が必要である。

保育行政について

【山脇】蕨市子ども子育て支援事業計画」では認可保育園の増設や地域型保育への移行についてはどのような計画ですすめていく考えか。

【部長】2019年度の0歳児から2歳児のニーズ量603人に対し、さらなる認可保育園の整備と、家庭保育室の特定地域型保育事業への移行などにより供給見込みを616人と見込み、計画する。

被爆・戦後70年、蕨市平和都市宣言30周年の記念事業を

【山脇】平和団体や市民との共催での記念事業についても検討し、取り組みを広げていく考えはあるかどうか。

【部長】歴史民俗資料館、図書館、公民館では冠を付けた記念事業を実施。団体等との共催等も併せて検討する。

◆ほかに『地域包括ケアシステム体制について』を質問。

子育て・福祉・あったかわらびすすめます!

やまわき紀子の重点政策

- ☆安倍政権の暴走政治にストップをかけ、平和・民主主義・くらしを守ります
- ☆障がい者の暮らしの場（入所施設・グループホーム）の確保に努力します。
- ☆国保税の大幅値上げにつながる国保の広域化に反対します。
- ☆認可保育園を増設し、保育園の待機児童をなくします。
- ☆学童保育室を南小学校内に増設します。
- ☆学校トイレの改修や老朽化した校舎を計画的に改修します。
- ☆コミュニティバスをさらに利用しやすくします。
- ☆公園・道路の維持管理を充実します。
- ☆財政の健全化をすすめます。
- ☆毎議会、市民の声をとりあげ一般質問を行い、議会報告をします。



蕨市議会議員
やまわき紀子

安倍政権の暴走政治ストップ!

蕨市のあつたか市政が前進

日本共産党市議団3月議会でも奮闘

3月定例会市議会は3月23日、市長提出議案すべてを可決し、閉会しました。

日本共産党市議団は、頼高市長のあつたか市政を前進させる立場から議案を審議。質疑と一般質問を通じ、消費税8%への増税の影響や、今年4月からの介護保険制度改悪の影響、子ど

も・子育て支援新制度の内容等を問い、安倍政権の暴走政治から市民の暮らしを守る立場を明らかにしました。

2015年度の蕨市予算等には、党市議団が市民の要望を聞いて頼高市長に手渡した予算要望書の中から、たくさんの方策が盛り込まれました(新年度の

施策を2・3面に掲載)。

被爆者の願いに

新生会・公明党が反対

県原爆被害者協議会が提出した被爆者援護法の改正を求める陳情に新生会は「法律を改正する必要はない」と反対討論、公明党も反対して不採択になりました。被爆者の範囲を狭くする



頼高市長に予算要望書を手渡す市議団 (2014年11月20日)

2期8年の実績と前進への決意

頼高市長が施政方針を表明

議会初日に頼高市長は施政方針を述べました。2期8年を振り返り、①県南初の中学卒業までの医療費無料化、蕨駅のエレベーター設置、市立病院の黒字化、小中学校の耐震化の完了、全ての普通教室へのエアコン設置、市内3か所目の特養ホーム、

認可保育園5園増設など、マニフェストの実現で住み良いまちづくりが大きく前進②市政健全化や大型開発の見直し等の市政改革の前進③市民との対話・触れ合い・協働の前進、を紹介。あつたか市政をさらに前進させる決意を表明しました。



やまわき紀子

- 1972年わらび生まれわらび育ち。42歳。
- 現在、市議4期。環境福祉経済常任委員長、原水爆禁止蕨市協議会副会長、蕨市平和を守る会副会長、中学・高校PTA役員など。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています

f フェイスブックでも発信中

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2015年4月号

事務所 TEL 443-8332
FAX 444-6531

市議員

志村 茂 ☎441-0265 山脇紀子 ☎446-3129
 鈴木 智 ☎444-6957 梶原秀明 ☎447-1928
 ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> 共産党蕨 検索
 メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2015年度予算 14年度 補正含む でたく

適切な援助が受けられるように、障がい者等にヘルプカードを配布。

◆認可保育園3園を増設

待機児童解消に向け、3園を増設。頼高市長の8年間で認可保育園5園・定員388人が増えます。

◆学童保育室を増設

中央小と東小の余裕教室を活用して学童保育室を増設します。

◆生活困窮者自立支援事業を実施

自立相談支援、家計相談支援、中学・高校生への学習支援、住宅確保給付金の支給、生活保護住宅ソーシャルワーカー事業を実施。

◆胃がん検診を個別検診に

胃がん検診を集団検診から個別検診に変更（自己負担は1700円）し、受診率を向上させます。

◆小・中学校へ緊急地震速報設置

緊急地震速報システムを設置して学校安全の向上と防災教育の充実を図ります。

◆小・中学校等のトイレ対策強化

◎中央小・一中の洋式トイレ増加
◎錦町児童館のトイレを洋式化
◎東公民館のトイレを一部洋式化
◎小・中学校のトイレの臭気対策として清掃経費を増額

◆住宅リフォーム助成制度拡充

15年度に限って補助率を10%、助成額を20万円に拡大（過去に本制度の助成を受けた人も利用可）。

◆プレミアム付き商品券発行

千円の商品券13枚を1冊1万円で購入。2万5千冊発行します。

◆わらびりんごサイダー完成に向け助成を拡大

◆中心市街地活性化事業推進

◆東口コミュニティ・ショッピング道路の設計（整備は次年度）

◆成年式発祥の地である蕨市の成年式を70周年にふさわしく実施



ショッピング道路の計画が進む蕨駅東口の商店街

◆市民参画・協働の推進

協働事業提案制度に基づく取り組みを引き続き推進します。

◆平和事業の充実

戦後70年・蕨市平和都市宣言30年にあたり、平和事業を充実。

◆地球温暖化対策補助金

今年度も太陽光発電、燃料電池、雨水貯留施設等に補助します。

◆中央第一地区のまちづくり

地区計画による新たなまちづくりを推進します。

◆錦町区画整理事業の推進

一般会計から約8億9千万円を繰り出し、事業を推進します。

◆土地開発公社の健全化推進

14年度の補正と15年度予算で約11億円買い戻し、土地開発公社の借金残高を約39億円にします。

◆市議会の本会議をインターネット中継（9月定例会から実施）

悩み・困りごとは日本共産党にご相談

事務所 ☎443-8332 FAX 444-6531

皆さんの市民要望が実現

◆公共施設の耐震化を推進

◎東・南公民館の耐震化工事

◎市民体育館（北町コミュニティセンター）の耐震化設計

◎市民会館の耐震診断



耐震化設計を行う市民体育館

◆公共施設白書を作成し、長期的な施設改修計画の策定を準備

◆自転車盗難等防止のパトロールを拡充

◆自転車用ヘルメット購入補助
17歳以下と65歳以上の人のヘルメット購入に2千円補助します。

◆消防職員・消防団員のOBなどで消防災害支援隊を創設

◆防災行政無線の難聴対策実施
テレビ埼玉と蕨ケーブルビジョンで防災情報を発信します。

◆災害備蓄品を充実

◆市民が自由に持ち出せる土のうステーションを市内7か所に設置

◆道路照明灯等の落下防止点検

◆家具転倒防止器具設置補助金を創設

75歳以上のみせ帯、障がい者・要介護及び要支援者のいる世帯は最大1万円を補助します。

◆災害時に障がい者などの避難を支援する個人別の計画を策定

◆配偶者暴力相談所を設置

女性の専門家2人を配置し、市役所1階に配偶者暴力相談支援センターを設置します。

◆非婚母（父）子家庭の寡婦（夫）控除みなし適用を実施し、保育料などを軽減します

◆小学校の35人程度学級を継続

学級人数を35人以下にする（12月10日が基準日）ために、市独自に4校に7人の教師を配置します。

◆国民健康保険税の税率据え置き
国民健康保険税の税率を据え置き、低所得世帯の軽減を拡充。

◆3か所目の特養ホーム開設

南町に市内3か所目の特養ホームが開設し、同場所に2か所目の地域包括支援センターを開設。

◆介護保険料の低所得世帯の軽減を拡充

◆障がい者にヘルプカード配布

5歳未満のときに周囲の人から



特養ホーム「いきいきタウン蕨」

◆第3子の保育料を無料に

第3子以降が3歳未満児で認可保育園を利用していれば、その保育料を無料にします。

相談ください



志村しげる



やまわき紀子



鈴木さとし



かじわら秀明



鈴木さとしの一般質問 長年の要望が大きく前進

災害時の障がい者などへの支援、 学童保育の学校敷地内への増設など

◆地域での防災対策の推進

鈴木 障がい者や高齢者などの避難行動要支援者への対策は。

部長 全体計画に基づき、市と自主防災会などの連携ですすめたい。対象は、避難が困難で家族などの支援も十分に受けられず、一定の障害や介護の条件に当てはまる人。「自助」や「共助」による避難を基本とし、地域社会の連携強化により、情報伝達、支援体制の整備・充実をおこなう。

鈴木 新たに設置される土のうステーションの運営について。

部長 市民が、いつでも自由に土のうをもちだし、「自助」としての浸水対策ができるよう市内7か所の公園などに設置。土のうが不足した際の連絡や、高齢者など災害弱者への配布で自主防災会の協力があれば幸いと考える。

鈴木 「共助」を担う町会や自主防災会への一層の支援が必要。多様な活

動に対応した総合的な講習会の実施などを求める。

◆留守家庭児童指導室（学童保育）の増設

鈴木 対象が小4生から6年生まで拡大されたが、2015年度の入室状況はどのようになっているか。

部長 新5年生全体で23人が希望しているが、新4年生までで定員を上回るため、新5年生の入室は断っている。増設の検討が必要と認識している。

鈴木 中央小、東小の一次的余裕教室を利用して留守家庭児童指導室が増設されるが、その時期などはどのように検討されているか。

部長 夏季休業初日の開設をめざす。定員は各35人を予定している。

鈴木 他地域での増設や指導員の増員など、今後の対応を期待する。

※他に、カラスの営巣対策、蔵駅東口の環境を質問しました。

引き続き、実現めざして頑張ります

●暮らし・福祉最優先の市政を

安心して介護が受けられる制度の充実 高齢者・障がい者への見守り体制充実 障がい者の暮らしの場確保を 生活困窮者・低所得者対策の推進 市立病院の直営堅持・サービス向上と経営改善を

●子育て・教育環境の充実を

認可保育園増設・待機児童をゼロに 留守家庭児童指導室（学童保育）の学校敷地内への移転・増設 35人程度学級の継続と教育環境の充実 学校トイレなど老朽校舎の改修推進



塚越7丁目・けやきの森保育園が今年度から開設

●市民の願いが生きる安全安心のまちを

公共施設耐震化の計画的な推進 災害に強い地域コ

ミュニティーを 自転車の安全利用と放置自転車対策の推進 市民の声を活かした蔵駅周辺の環境整備を

●中小業者・商店を応援、地域に活力を

リフォーム助成・小規模契約登録制度の拡充 公正な契約制度へ一層の改善を 空き店舗対策と商店街支援の推進 わらびりんごや双子織などの地域資源を活かしたまちづくり



地域の活性化は市民の願い（中央・駅前通りの商店街）

●市民参加・財政健全化の推進を

生涯学習やボランティア活動への支援拡充 議会のインターネット中継の実施や議会改革で開かれた市議会を 土地開発公社健全化の推進

●安倍政権の暴走政治ストップ

安倍政権の暴走政治ストップ!

蕨市のあつたか市政が前進

日本共産党市議団3月議会で奮闘

3月定例会市議会は3月23日、市長提出議案すべてを可決し、閉会しました。

日本共産党市議団は、頼高市長のあつたか市政を前進させる立場から議案を審議。質疑と一般質問を通じ、消費税8%への増税の影響や、今年4月からの介護保険制度改悪の影響、子ど

も・子育て支援新制度の内容等を問い、安倍政権の暴走政治から市民の暮らしを守る立場を明らかにしました。

2015年度の蕨市予算等には、党市議団が市民の要望を聞いて頼高市長に手渡した予算要望書の中から、たくさんの方策が盛り込まれました(新年度の

施策を2・3面に掲載)。

被爆者の願いに

新生会・公明党が反対

県原爆被害者協議会が提出した被爆者援護法の改正を求める陳情に新生会は「法律を改正する必要はない」と反対討論、公明党も反対して不採択になりました。被爆者の範囲を狭くする



頼高市長に予算要望書を手渡す市議団 (2014年11月20日)

2期8年の実績と前進への決意

頼高市長が施政方針を表明

議会初日に頼高市長は施政方針を述べました。2期8年を振り返り、①県南初の中学卒業までの医療費無料化、蕨駅のエシベーター設置、市立病院の黒字化、小中学校の耐震化の完了、全ての普通教室へのエアコン設置、市内3か所目の特養ホーム、

える援護法の改正は、被爆者の切実な願いです。これに背を向ける党派の態度は残念です。

認可保育園5園増設など、マニフェストの実現で住み良いまちづくりが大きく前進②市政健全化や大型開発の見直し等の市政改革の前進③市民との対話・触れ合い・協働の前進、を紹介。あつたか市政をさらに前進させる決意を表明しました。



生活相談などお気軽に

鈴木さとしのプロフィール

●1965年生まれ(49歳) ●市議3期、党市議団幹事長、総務常任委員会委員 ●家族は、妻、子(16歳、14歳、10歳) ●中央5-9-7 電話444-6957 ●主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目、中央1・3・4・5丁目
Facebook ツイッターでも発信中

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2015年4月号

事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531

市議員

志村 茂 ☎441-0265 山脇紀子 ☎446-3129
鈴木 智 ☎444-6957 梶原秀明 ☎447-1928
ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> 共産党蕨 検索
メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2015年度予算 14年度 補正含む でたく

適切な援助が受けられるように、障がい者等にヘルプカードを配布。

◆認可保育園3園を増設

待機児童解消に向け、3園を増設。頼高市長の8年間で認可保育園5園・定員388人が増えます。

◆学童保育室を増設

中央小と東小の余裕教室を活用して学童保育室を増設します。

◆生活困窮者自立支援事業を実施

自立相談支援、家計相談支援、中学・高校生への学習支援、住宅確保給付金の支給、生活保護住宅ソーシャルワーカー事業を実施。

◆胃がん検診を個別検診に

胃がん検診を集団検診から個別検診に変更（自己負担は1700円）し、受診率を向上させます。

◆小・中学校へ緊急地震速報設置

緊急地震速報システムを設置して学校安全の向上と防災教育の充実を図ります。

◆小・中学校等のトイレ対策強化

◎中央小・一中の洋式トイレ増加
◎錦町児童館のトイレを洋式化
◎東公民館のトイレを一部洋式化
◎小・中学校のトイレの臭気対策として清掃経費を増額

◆住宅リフォーム助成制度拡充

15年度に限って補助率を10%、助成額を20万円に拡大（過去に本制度の助成を受けた人も利用可）。

◆プレミアム付き商品券発行

千円の商品券13枚を1冊1万円で購入。2万5千冊発行します。

◆わらびりんごサイダー完成に向け助成を拡大

◆中心市街地活性化事業推進

◆東口コミュニティ・ショッピング道路の設計（整備は次年度）

◆成年式発祥の地である蕨市の成年式を70周年にふさわしく実施



ショッピング道路の計画が進む蕨駅東口の商店街

◆市民参画・協働の推進

協働事業提案制度に基づく取り組みを引き続き推進します。

◆平和事業の充実

戦後70年・蕨市平和都市宣言30年にあたり、平和事業を充実。

◆地球温暖化対策補助金

今年度も太陽光発電、燃料電池、雨水貯留施設等に補助します。

◆中央第一地区のまちづくり

地区計画による新たなまちづくりを推進します。

◆錦町区画整理事業の推進

一般会計から約8億9千万円を繰り出し、事業を推進します。

◆土地開発公社の健全化推進

14年度の補正と15年度予算で約11億円買い戻し、土地開発公社の借金残高を約39億円にします。

◆市議会の本会議をインターネット中継（9月定例会から実施）

悩み・困りごとは日本共産党にご相談

事務所 ☎443-8332 FAX 444-6531

皆さんの市民要望が実現

◆公共施設の耐震化を推進

◎東・南公民館の耐震化工事

◎市民体育館（北町コミュニティセンター）の耐震化設計

◎市民会館の耐震診断



耐震化設計を行う市民体育館

◆公共施設白書を作成し、長期的な施設改修計画の策定を準備

◆自転車盗難等防止のパトロールを拡充

◆自転車用ヘルメット購入補助
17歳以下と65歳以上の人のヘルメット購入に2千円補助します。

◆消防職員・消防団員のOBなどで消防災害支援隊を創設

◆防災行政無線の難聴対策実施
テレビ埼玉と蕨ケーブルビジョンで防災情報を発信します。

◆災害備蓄品を充実

◆市民が自由に持ち出せる土のうステーションを市内7か所に設置

◆道路照明灯等の落下防止点検

◆家具転倒防止器具設置補助金を創設

75歳以上のみせ帯、障がい者・要介護及び要支援者のいる世帯は最大1万円を補助します。

◆災害時に障がい者などの避難を支援する個人別の計画を策定

◆配偶者暴力相談所を設置

女性の専門家2人を配置し、市役所1階に配偶者暴力相談支援センターを設置します。

◆非婚母（父）子家庭の寡婦（夫）控除みなし適用を実施し、保育料などを軽減します

◆小学校の35人程度学級を継続

学級人数を35人以下にする（12月10日が基準日）ために、市独自に4校に7人の教師を配置します。

◆国民健康保険税の税率据え置き
国民健康保険税の税率を据え置き、低所得世帯の軽減を拡充。

◆3か所目の特養ホーム開設

南町に市内3か所目の特養ホームが開設し、同場所に2か所目の地域包括支援センターを開設。

◆介護保険料の低所得世帯の軽減を拡充

◆障がい者にヘルプカード配布

5つあるときに周囲の人から



特養ホーム「いきいきタウン蕨」

◆第3子の保育料を無料に

第3子以降が3歳未満児で認可保育園を利用していれば、その保育料を無料にします。

相談ください



志村しげる



やまわき紀子



鈴木さとし



かじわら秀明

マンション管理組合への支援を求める

日本共産党かじわら秀明の一般質問

【梶原】マンションの現状はどうか。

【都市整備部長】分譲マンションは138棟6761戸。全住宅の17%と推計。築40年以上は12棟493戸。

【梶原】マンションの老朽化、居住者の高齢化、滞納や相続人不在などの問題が増えている。市としてマンション管理組合への支援が望まれる。マンション管理相談の状況はどのようか。

【部長】マンション管理士会の協力で奇数月に「マンション管理相談」を実施している。2013年度7件、14年度4件の相談があった。引き続き相談に応じる体制をとる。県マンション居住支援ネットワークと連携するなど対応に努める。

介護事業所の説明書

【梶原】介護事業所の特徴等を記載した説明書を市に置いてほしい。

【健康福祉部長】厚労省の「介護サービス 情報公表システム」に、事業所の運営方針、特色などが載っている。広報等でもその周知を図りたい。

【梶原】介護を初めて受ける人にとってネットの情報は活用してほしい。

【部長】事業所情報の一部を印刷して窓口に備えている。窓口で相談いただければ、近所の事業所を紹介することは可能だ。

見沼代用水沿いと歩道の タイル平板の修繕

【梶原】北町5丁目の見沼代用水沿いの道の破損がひどい。毎年せめて1、2カ所は整備してほしい。



整備が求められる用水沿い
(北町5丁目)

【都市整備部長】改善に向けて検討中。できれば予算をとって善処したい。

【梶原】高齢者などがつま

づきやすい平板タイルの破損への対応状況はどうか。市民が市に連絡すれば即応できる体制にあるか。

【部長】市民からの通報などで、ガタツキなどを発見した場合は即時に対応している。14年度は15箇所修繕した。

◆他に、小規模企業振興基本法にもとづく施策を質問。

かじわら秀明の重点政策



建設的提案で あったか市政を前へ

- 安心できる地域医療介護ケアを進めます
- 低所得者・生活困窮者支援を強めます
- 障がい者の見守りを強めます
- 市立病院は公設公営で、安定経営を進めます
- 認可保育園をさらに増やし、待機児童をなくします
- 少人数学級などで、蔵の高い教育水準を維持します
- 公正で透明な市政。親切的な市役所。住民本位の行政を効率的に行うよう提言を続けます
- 市の借金はさらに減らします

安全なまち 災害対策を強めます

- 市民会館・市民体育館の耐震化を進めます
- 自主防災会などへの支援で、災害に強い地域づくりを進めます
- 家屋の耐震化、家具転倒防止器具の設置で、市民の命を守ります
- 要援護者の安全対策、避難支援をおこないます
- 安倍政権の暴走政治と対決し、悪政から市民を守る防波堤の役割を果たします
- 格差を広げるアベノミクスはストップ！ 消費税10%はきっぱり中止！
- 戦争立法反対。憲法9条を守りぬきます
- 介護サービスの改善やめよ。安心の社会保障を
- 大企業の内部留保の活用で、賃金と下請け単価の引き上げを求めます
- 税の大幅値上げにつながる、国保の広域化には反対します

安倍政権の暴走政治ストップ!

蕨市のあつたか市政が前進

日本共産党市議団3月議会で奮闘

3月定例市議会は3月23日、市長提出議案すべてを可決し、閉会しました。

日本共産党市議団は、頼高市長のあつたか市政を前進させる立場から議案を審議。質疑と一般質問を通じ、消費税8%への増税の影響や、今年4月からの介護保険制度改悪の影響、子ど

も・子育て支援新制度の内容等を問ひ、安倍政権の暴走政治から市民の暮らしを守る立場を明らかにしました。

2015年度の蕨市予算等には、党市議団が市民の要望を聞いて頼高市長に手渡した予算要望書の中から、たくさんの方策が盛り込まれました(新年度の

施策を2・3面に掲載)。

被爆者の願いに

新生会・公明党が反対

県原爆被害者協議会が提出した被爆者援護法の改正を求める陳情に新生会は「法律を改正する必要はない」と反対討論、公明党も反対して不採択になりました。被爆者の範囲を狭くとも



頼高市長に予算要望書を手渡す市議団 (2014年11月20日)

2期8年の実績と前進への決意

頼高市長が施政方針を表明

議会初日に頼高市長は施政方針を述べました。2期8年を振り返り、①県南初の中学卒業までの医療費無料化、蕨駅のエシベーター設置、市立病院の黒字化、小中学校の耐震化の完了、全ての普通教室へのエアコン設置、市内3か所目の特養ホーム、

える援護法の改正は、被爆者の切実な願いです。これに背を向ける党派の態度は残念です。

認可保育園5園増設など、マニフェストの実現で住み良いまちづくりが大きく前進②市政健全化や大型開発の見直し等の市政改革の前進③市民との対話・触れ合い・協働の前進、を紹介。あつたか市政をさらに前進させる決意を表明しました。



かじわら秀明

●東京農工大学卒。沖電気などに勤務。市議3期。中小企業診断士。52歳 ●主な活動地域：塚越1・4・5丁目、北町 ●自宅：北町1-21-19、電話447-1928 (Fax兼) ●ホームページで活動レポート発信中 @KajiwaraHideaki

生活相談・要望などいつでもどうぞ

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2015年4月号

事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531

市議員

志村 茂 ☎441-0265 山脇紀子 ☎446-3129
鈴木 智 ☎444-6957 梶原秀明 ☎447-1928
ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> 共産党蕨 検索
メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2015年度予算 14年度 補正含む でたく

適切な援助が受けられるように、障がい者等にヘルプカードを配布。

◆認可保育園3園を増設

待機児童解消に向け、3園を増設。頼高市長の8年間で認可保育園5園・定員388人が増えます。

◆学童保育室を増設

中央小と東小の余裕教室を活用して学童保育室を増設します。

◆生活困窮者自立支援事業を実施

自立相談支援、家計相談支援、中学・高校生への学習支援、住宅確保給付金の支給、生活保護住宅ソーシャルワーカー事業を実施。

◆胃がん検診を個別検診に

胃がん検診を集団検診から個別検診に変更（自己負担は1700円）し、受診率を向上させます。

◆小・中学校へ緊急地震速報設置

緊急地震速報システムを設置して学校安全の向上と防災教育の充実を図ります。

◆小・中学校等のトイレ対策強化

◎中央小・一中の洋式トイレ増加
◎錦町児童館のトイレを洋式化
◎東公民館のトイレを一部洋式化
◎小・中学校のトイレの臭気対策として清掃経費を増額

◆住宅リフォーム助成制度拡充

15年度に限って補助率を10%、助成額を20万円に拡大（過去に本制度の助成を受けた人も利用可）。

◆プレミアム付き商品券発行

千円の商品券13枚を1冊1万円で購入。2万5千冊発行します。

◆わらびりんごサイダー完成に向け助成を拡大

◆中心市街地活性化事業推進

◆東口コミュニティ・ショッピング道路の設計（整備は次年度）

◆成年式発祥の地である蕨市の成年式を70周年にふさわしく実施



ショッピング道路の計画が進む
蕨駅東口の商店街

◆市民参画・協働の推進

協働事業提案制度に基づく取り組みを引き続き推進します。

◆平和事業の充実

戦後70年・蕨市平和都市宣言30年にあたり、平和事業を充実。

◆地球温暖化対策補助金

今年度も太陽光発電、燃料電池、雨水貯留施設等に補助します。

◆中央第一地区のまちづくり

地区計画による新たなまちづくりを推進します。

◆錦町区画整理事業の推進

一般会計から約8億9千万円を繰り出し、事業を推進します。

◆土地開発公社の健全化推進

14年度の補正と15年度予算で約11億円買い戻し、土地開発公社の借金残高を約39億円にします。

◆市議会の本会議をインターネット中継（9月定例会から実施）

悩み・困りごとは日本共産党にご相談

事務所 ☎443-8332 FAX 444-6531

皆さんの市民要望が実現

◆公共施設の耐震化を推進

◎東・南公民館の耐震化工事

◎市民体育館（北町コミュニティセンター）の耐震化設計

◎市民会館の耐震診断



耐震化設計を行う市民体育館

◆公共施設白書を作成し、長期的な施設改修計画の策定を準備

◆自転車盗難等防止のパトロールを拡充

◆自転車用ヘルメット購入補助
17歳以下と65歳以上の人のヘルメット購入に2千円補助します。

◆消防職員・消防団員のOBなどで消防災害支援隊を創設

◆防災行政無線の難聴対策実施
テレビ埼玉と蕨ケーブルビジョンで防災情報を発信します。

◆災害備蓄品を充実

◆市民が自由に持ち出せる土のうステーションを市内7か所に設置

◆道路照明灯等の落下防止点検

◆家具転倒防止器具設置補助金を創設

75歳以上のみせ帯、障がい者・要介護及び要支援者のいる世帯は最大1万円を補助します。

◆災害時に障がい者などの避難を支援する個人別の計画を策定

◆配偶者暴力相談所を設置

女性の専門家2人を配置し、市役所1階に配偶者暴力相談支援センターを設置します。

◆非婚母（父）子家庭の寡婦（夫）控除みなし適用を実施し、保育料などを軽減します

◆小学校の35人程度学級を継続

学級人数を35人以下にする（12月10日が基準日）ために、市独自に4校に7人の教師を配置します。

◆国民健康保険税の税率据え置き
国民健康保険税の税率を据え置き、低所得世帯の軽減を拡充。

◆3か所目の特養ホーム開設

南町に市内3か所目の特養ホームが開設し、同場所に2か所目の地域包括支援センターを開設。

◆介護保険料の低所得世帯の軽減を拡充

◆障がい者にヘルプカード配布

5つあるときに周囲の人から



特養ホーム「いきいきタウン蕨」

◆第3子の保育料を無料に

第3子以降が3歳未満児で認可保育園を利用していれば、その保育料を無料にします。

相談ください



志村しげる



やまわき紀子



鈴木さとし



かじわら秀明